

# II 国語

正答表並びに採点上の注意

(令和五年度)

問一								
(ウ)	(イ)				(ア)			
	d	c	b	a	d	c	b	a
2	3	4	3	1	4	1	3	2
4点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点

問二					
(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
1	2	3	1	4	4
4点	4点	4点	4点	4点	4点

問三								
(ケ)	(ク)	(キ)	(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
2	1	3	4	2	3	2	1	3
4点	4点	4点	4点	4点	4点	2点	2点	2点

問四			
(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
1	3	2	4
4点	4点	4点	4点

問五																																				
(イ)	(ア)																																			
<p>日本における人間と自然の共生という視点で考えると、</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td>林</td><td>野</td><td>と</td><td>関</td><td>わ</td> </tr> <tr> <td>り</td><td>な</td><td>が</td><td>ら</td><td>暮</td> </tr> <tr> <td>ら</td><td>す</td><td>人</td><td>を</td><td>増</td> </tr> <tr> <td>や</td><td>し</td><td>て</td><td>雑</td><td>木</td> </tr> <tr> <td>林</td><td>や</td><td>農</td><td>耕</td><td>地</td> </tr> <tr> <td>を</td><td>持</td><td>続</td><td>的</td><td>に</td> </tr> <tr> <td>管</td><td>理</td><td>す</td><td>る</td><td></td> </tr> </table> <p>ことが必要です。</p>	林	野	と	関	わ	り	な	が	ら	暮	ら	す	人	を	増	や	し	て	雑	木	林	や	農	耕	地	を	持	続	的	に	管	理	す	る		4
林	野	と	関	わ																																
り	な	が	ら	暮																																
ら	す	人	を	増																																
や	し	て	雑	木																																
林	や	農	耕	地																																
を	持	続	的	に																																
管	理	す	る																																	
6点	4点																																			

(イ)は正答例。

35

25

## 採点上の注意

### 【問題全般について】

- 中間点は、問五(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）の判断については、校内で統一すること。

### 【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば、正答として六点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。
- 誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）については、その数にかかわらず二点減点とする。
- 表現に問題があり、それによって明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず二点減点とする。表現の問題については、複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 中間点は、誤字・脱字（指定語句及び句読点に係る誤りを含む）がある場合と、表現に問題がある場合の減点以外は設けないこと。したがって、中間点は四点または二点となる。
- 指定語句がある場合、その語句が含まれていない解答は誤答とする。

### ○ 問五(イ)について

・ 指定語句は「管理」と「林野」である。

#### 得点項目A

内容については、次の二点に触れていること。

- (あ) 「自然に手を加えたところを持続的に管理する」こと。
- (い) 「林野と関わりながら暮らす人を増やす」こと。

#### 〈正答例〉

日本における人間と自然の共生という視点で考えると、  
雑木林や里地を持続的に管理するために林野と関わっ<sup>25</sup>て生活する人を増やす  
ことが必要です。<sup>35</sup>

日本における人間と自然の共生という視点で考えると、  
手を加えた自然を管理し続けるために林野と関わる人<sup>25</sup>を減らさないようにする  
ことが必要です。<sup>35</sup>